

会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回川越市健康づくり推進協議会
開催日時	令和6年5月17日(金) 午後1時30分 開会 ・ 午後2時33分 閉会
開催場所	川越市総合保健センター 3階研修室・会議室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 元山 猛
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 村田 一男 委 員 宮山 徳司、西村 早苗、鶴田 淳子、須田 弘子 清水 克子、大塚 賢一、宇津 和高、本木 春男 長峰 す美子、米原 民子、鹿倉 隆、志村 洋子 三芳 弘道、江尻 旬子 (16名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委 員 深井 智子、新家子 直之、大澤 克哉 (3名)
事務局職員職氏名	部長 若林 昭彦、課長 千葉 幸子、副課長 清水 克彦 主幹 有馬 理恵、副主幹 関根 広美、主査 小高 久美子 主査 矢島 敬子、主査 高橋 舞子、主査 室岡 一紀
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 健康かわごえ推進プラン(第2次)の評価について (2) (仮称)健康かわごえ推進プラン(第3次)の概要について 4 その他 5 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度第1回川越市健康づくり推進協議会次第(表面) ・ 令和6年度川越市健康づくり推進協議会委員名簿(裏面) ・ 資料1「健康かわごえ推進プラン(第2次)」の評価 ・ 資料2(仮称)健康かわごえ推進プラン(第3次)策定スケジュール ・ 資料3(仮称)健康かわごえ推進プラン(第3次)のイメージ図(案) ・ 参考資料1 川越市民の健康について アンケート調査結果報告書 ・ 参考資料2 男女別特定健康診査有所見率の比較 ・ 歯と口の健康週間事業 歯ッピーフェスティバル2024チラシ ・ 3世代で取り組める!ラジオ体操講習会チラシ ・ (一般向け)熱中症に注意しよう!チラシ

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
司 会	1 開会
	2 あいさつ
事 務 局	3 議題 (1) 健康かわごえ推進プラン(第2次)の評価について 資料1「健康かわごえ推進プラン(第2次)」の評価 参考資料1「川越市民の健康についてアンケート調査結果報告書」 参考資料2「男女別特定健康診査有所見率の比較」 に基づき説明 (質疑応答)
委 員	<p>栄養・食生活の分野で悪化しているものが多い。 「適正体重」は消費エネルギー量と摂取エネルギー量のバランスをコントロールできているかどうかということ。 1日2回以上、主食・主菜・副菜がそろった人の割合は、食事の質が良いかどうかということ。 両方が良くなれば、食事の量も質も良い人が増えるということ。国でも同様の目標を立てているが、なかなか良くならない。 適正体重であれば「肥満」は男性の30代以上、「やせ」は女性の20代～30代と、改善したい層はある程度絞られているが、その人たちのアプローチを続けても改善しないという結果は他の調査と比較しても同じと実感している。 塩分の摂取量を減らすことは、色々な生活習慣病の予防につながるため、引き続き取り組みを続けていくことが大切。 朝食の欠食をする人の割合は、全体では下がっているのに対し、20代女性の欠食率が高くなったことに注目していかないといけないと感じた。 市販のお弁当などは、二極化しており、ある程度の価格のものは、野菜や何品かおかずが入っているが、安い価格のお弁当は野菜が入っていない。2品程度の食材しか入っていないため、選び方が偏ることが続いていくことが問題だと思う。 社員食堂、食事を提供している所が変わると、大きな影響を与えることができるので、食環境整備の中で力を入れていただきたい</p>

事務局	<p>いと思う。</p> <p>次期計画の中で参考にさせていただく。</p> <p>市では特定給食施設の皆様に研修を行うなど、実際に企業を訪問し栄養士の講話などを行う機会を少しずつ増やしている。</p> <p>引き続きコンビニなどで食環境整備を充実させていきたいと考えている。</p>
委員	<p>川越市では早くから平均寿命の伸びを上回る健康寿命の延伸を目標に掲げて実現していただいた。</p> <p>実際はコロナによって平均寿命の伸びが抑えられたことが背景にあるが、市民の方の意欲も高まっているので、次期計画ではここが一番のポイントとして本格的な取り組みになるかと思う。</p> <p>データの評価について、例えば健康診査の受診率はデータヘルス計画では思うような数字が出ていないのに対し、アンケート調査を見ると、かなり伸びている。この差について次期計画に向けて、どのようなデータを取るか検討しても良いのではと感じた。</p> <p>資料1の37ページ、かかりつけ医を持っている人の割合が減少しているが、かかりつけ医という存在を正しく市民の皆さんが理解するようになってきたからだと思っている。何かあったときに相談できる頼もしい存在としてかかりつけ医の方がいるかどうかということの理解が進んだと考えている。次期計画の評価にあたってはそういったところも、慎重に見ていけたらと思っている。</p>
事務局	<p>健診の受診率は、働いている人の受診率は非常に高くなっており、委員がおっしゃるとおり、国民健康保険と後期高齢者の部分だけで評価できないところがあるため、全体をアンケート等で把握できればと考えている。</p> <p>また、かかりつけ医の問題については、本日お配りした市民アンケート調査結果報告書の24ページに項目があり、5年前と比較すると、全体的に下がっているが、60代、70代の男性が若干上がっている状況にある。新型コロナウイルスの影響もあると考えている。</p>
委員	<p>市民アンケート調査結果報告書の47ページにある、定期的に歯科健診を受けていますかという所と、49ページの歯科医院で1年に一回は歯石除去等の歯の清掃を受けていますかの、数字を見比べていたが、これ見ると47ページの1年に一回の健診を受</p>

事務局	<p>けていないに対し、それ以上に歯石を取っている割合が多いのはなぜか。</p> <p>定期的な歯科健診を、1年に1回、もしくは6か月に1回受けている方が、そのまま、歯石除去を受ける方が多いと考えている。改めて分析をさせていただく。</p>
事務局	<p>(2) (仮称) 健康かわごえ推進プラン (第3次) の概要について 資料2・3に基づき説明</p> <p style="text-align: center;">(質疑応答)</p>
委員	<p>イメージ図の項目設定は極めて適切だと思っている。問題は表現だが、今まで「健康寿命日本一」を掲げていたが、市民の方々が分かりやすい表現方法が良いと思う。例えば、ご本人の立場、市民の立場から自己実現できる期間を延長など、自己実現の中身は一人ひとり違うため、本人にとってやりたいことをできる期間を延ばすといった分かりやすい言葉が盛り込まれたら素敵だと思う。</p>
事務局	<p>次期計画では、12年間とおして市民の皆さんが色々な自分の楽しみを持ちQOLを高めることが実現できるような内容を検討させていただく。</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>